



長野県 白馬村

総務課からのお知らせ 令和7年6月17日

**“消費”から“変環”へ 白馬村と名古屋大学は  
「無理なく楽しく資源・エネルギーを皆で共創し、資源のない日本を資源国へ」の  
実現を目指し、白馬村で社会実証実験を開始します。**

このたび、長野県北安曇郡白馬村（村長：丸山俊郎、以下「白馬村」）は、東海国立大学機構名古屋大学未来社会創造機構（機構長：佐宗章弘、以下「未来社会創造機構」）と相互に連携し、未来社会創造機構が、国立研究開発法人科学技術振興機構から受託した研究成果展開事業「共創の場形成支援プログラム」における「セキュアでユビキタスな資源・エネルギー共創拠点」の活動の一環として、白馬村において社会実証実験を開始します。

この「セキュアでユビキタスな資源・エネルギー共創拠点」では、各々が有する資源を有効活用し、資源・エネルギー問題の解決に向けた施策を展開することで、世界的な社会課題解決に資することを目的としており、白馬村のゼロ・カーボンビジョンに代表される環境・気候変動に関する先進的な取組に、本共創拠点の資源・エネルギーに関する研究成果を適用することで、拠点ビジョンである『“消費”から“変環”へ～無理なく楽しく資源・エネルギーを皆で共創し、資源のない日本を資源国へ～』の実現を目指します。

今回開始する社会実証実験は、具体的な施策の代表例であり、白馬ジャンプ競技場北階段に設置されたトレーラーハウスと関連装置群を用いて、回収したCO2と太陽光パネルによって発電した電力から水電解で得た水素を活用して、エネルギー源となるメタンガスを生成するシステムを構築・稼働させるものです。

本取組は、生活における「従来の“生産”→“消費”→“廃棄”という常識を変革し、これまで活用されてこなかった資源やエネルギーを『変換』し、『循環』させることで、市民自らが生産者となる社会の実現」を目指す活動の一つです。その成功を好事例として、グローバル観光都市である白馬村からそのノウハウを世界に発信し、地球規模の社会課題の解決に貢献していきます。

なお、以下により実証実験場にてシステムの披露式（説明会）を行いますので、是非、ご参集ください。

- 1.日 時 令和7年6月26日（木） 10:00～11:00
- 2.場 所 白馬ジャンプ競技場北階段周辺（白馬村北城3799番地）
- 3.次 第 ① 本共創拠点及び白馬村での取組の説明  
② 実証実験システム見学

※雨天中止となります

（裏面へ）

白馬村



白馬村キャラクター  
Victoire  
Cheval Blanc  
Murao III

白馬村役場 総務課

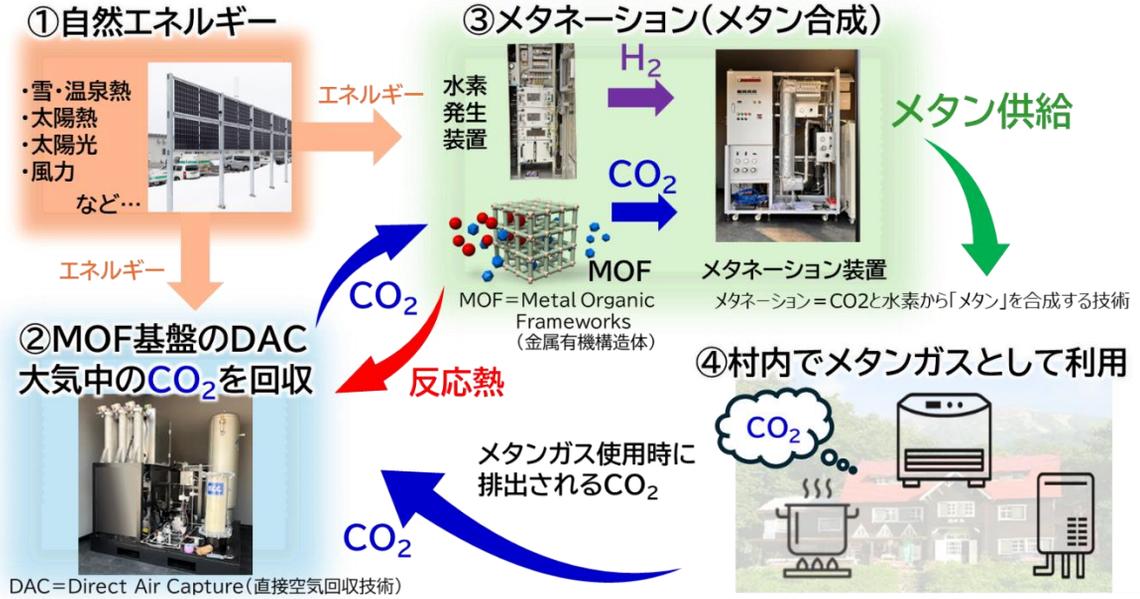
（課長）田中 克俊（担当）田中 元気

電 話：0261-72-7002（直通）

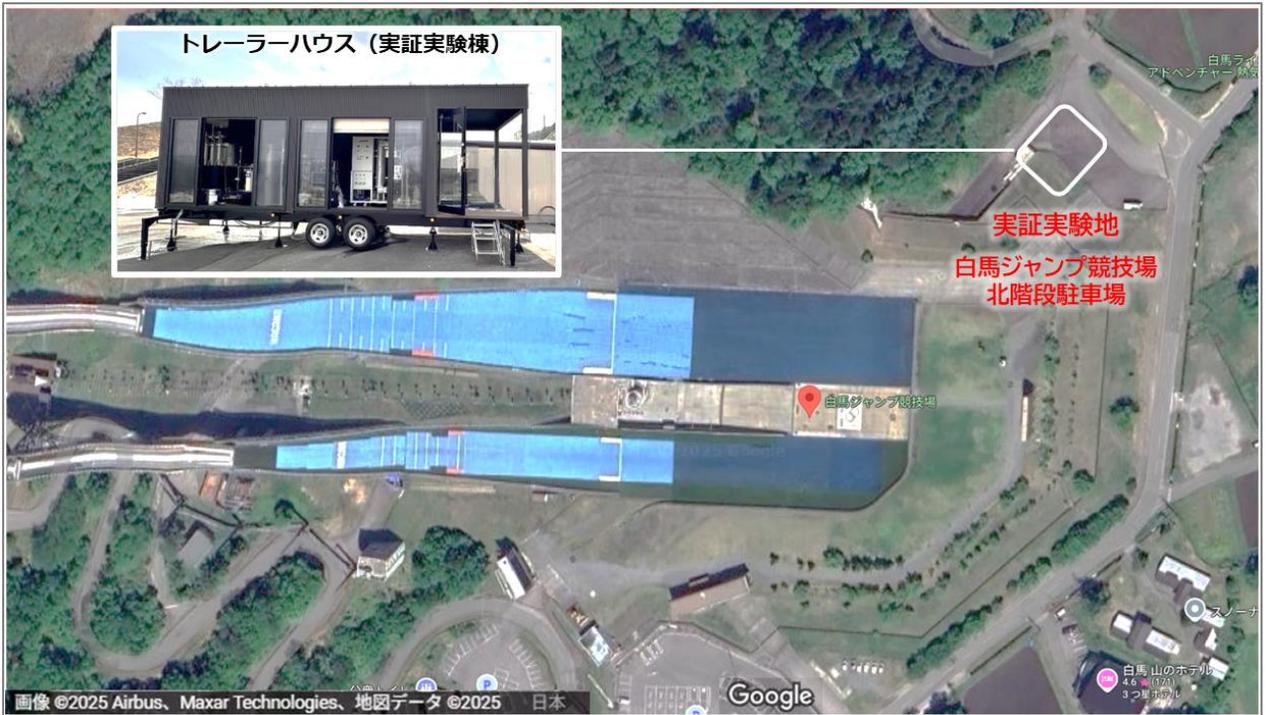
F A X：0261-72-7001

E-mail：kikaku@vill.hakuba.lg.jp

## 白馬村での二酸化炭素からのメタン合成の実証実験



二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)と水素(H<sub>2</sub>)からメタン(CH<sub>4</sub>)を生成  
 白馬村内で資源・エネルギーが循環する変環システムを実証する



### 問い合わせ先

国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学 未来社会創造機構 変環共創拠点事務室

TEL: 052-789-5826

Email: [adm.henkan@mirai.nagoya-u.ac.jp](mailto:adm.henkan@mirai.nagoya-u.ac.jp)

名古屋大学は、国立大学法人東海国立大学機構が運営する国立大学です。

東海国立大学機構HP <https://www.thers.ac.jp/>

